

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-168000

(43)公開日 平成6年(1994)6月14日

(51)Int.Cl.⁵

G10L 9/18

G09B 5/04

識別記号

J

庁内整理番号

8946-5H

7517-2C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(21)出願番号

特願平4-320272

(22)出願日

平成4年(1992)11月30日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 松本 美治男

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 小野 公了

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

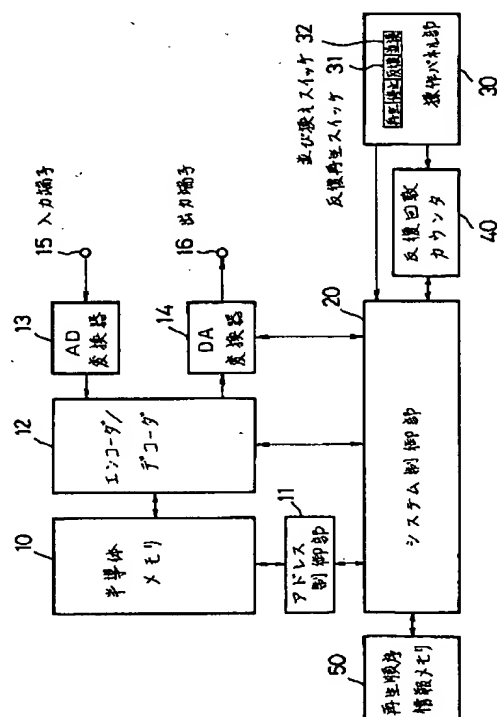
(74)代理人 弁理士 武田 元敏

(54)【発明の名称】 情報記録再生装置

(57)【要約】

【目的】 語学練習などの学習に適した反復再生機能をもつ情報記録再生装置を実現すること。

【構成】 特定ブロックの情報を再生している最中に反復再生スイッチ31を押すと、システム制御部20を介してアドレス制御部11に再生アドレスの開始点の変更指示が与えられ、該区間の先頭情報に再生開始点が移行すると共に、反復回数カウンタ40によりその反復回数がカウントされ、再生順序情報メモリ50の反転回数情報が更新される。並び換えスイッチ32を押すと反復操作回数に従って再生順序が階層化される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 反復動作を指示する反復動作入力手段と、ランダムアクセス可能な主情報記録媒体と、該主情報を適宜に分割してブロック化するブロック化手段と、個々のブロックについてのアドレスと過去の再生回数に関する情報を記録する制御情報記録媒体と、該制御情報に従って前記ブロックに属する主情報の再生順序を制御する再生順序制御手段とを備えたことを特徴とする情報記録再生装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、反復再生機能をもつ情報記録再生装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来より、語学練習機などを中心に反復再生機能をもつ情報記録再生装置が実用化されている。近年、特に半導体メモリの大容量化が進み長時間記録も実現可能になりつつあることから、その優れたランダムアクセス性を活用し、半導体メモリをバッファメモリや主メモリとして用いて反復再生機能を高めた情報記録再生装置が種々提案されている(例えば、特開昭62-234268号、特開昭62-234269号、特開昭63-282961号、特開昭63-22623号、特開昭63-168881号、特開平1-86365号、特開平1-294272号、特開平1-28562号、特開平2-14464号、特開平2-20828号公報参照)。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら従来例では、反復再生を繰り返しても再生順序が固定化されているために特定ブロックに属する主情報について優先度をつけて再生することができなかった。たとえば、フレーズ毎に主情報がブロック化された英会話学習機などでは、即座に暗記できるフレーズも何度繰り返しても暗記できないフレーズも同一条件で再生されるため、学習機としての効率が悪かった。本発明は上記問題点を鑑み、学習機としての効率の良い情報記録再生装置を提供することを目的とするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 この目的を達成するために本発明の情報記録再生装置は、反復動作を指示する反復動作入力手段と、ランダムアクセス可能な主情報記録媒体と、該主情報を適宜に分割してブロック化するブロック化手段と、個々のブロックについてのアドレスと過去の再生回数に関する情報を記録する制御情報記録媒体と、該制御情報に従って前記ブロックに属する主情報の再生順序を制御する再生順序制御手段とを備えたものである。

【0005】

【作用】 本発明は上記した構成によって、反復操作回数に従って再生順序が階層化されるため、学習機としての効率が向上することとなる。

【0006】

【実施例】 以下本発明の一実施例の情報記録再生装置について、図面を参照しながら説明する。図1は本発明の一実施例における情報記録再生装置のブロック構成である。図1において、10は主情報記録媒体である半導体メモリ、11は半導体メモリ10の読み書きのアドレスを制御するアドレス制御部、12は入出力信号のエンコーダ/デコーダ、13はアナログ入力信号をデジタル信号に変換するA/D変換器、14はデジタル出力信号をアナログ信号に変換するD/A変換器、15は入力端子、16は出力端子、20はシステム全体を制御するとともにD/A変換器14の出力を受けてその無信号状態を検出して主情報をブロック化するシステム制御部、30はシステムの動作に指示を与える操作パネル部、31は操作パネル部30に備えられた反復再生スイッチ、32は同じくブロック化された主情報を反復回数に従って並び換えを行う指示を与える並び換えスイッチ、40は反復回数をカウントする反復回数カウンタ、50は再生順序情報を記録する再生順序情報メモリである。

【0007】 以上のように構成された情報記録再生装置について、以下その動作について説明する。半導体メモリ10に書き込まれた主情報はアドレス制御部11によって管理されている。通常の再生モードにおいては、D/A変換器14の出力を用いてシステム制御部によって無信号状態が検出され主情報のブロック化が行われる。そのアドレスは再生順序情報メモリ50に反復回数と併せて記録される。反復再生未実施の場合はそのブロックに関する反復回数情報には初期値が記録されている。いま、特定ブロックの情報を再生している最中に反復再生スイッチ31を押すと、システム制御部20を介してアドレス制御部11に再生アドレスの開始点の変更指示が与えられ、該区間の先頭情報に再生開始点が移行すると共に、反復再生カウンタ40によりその反復回数がカウントされ、再生順序情報メモリ50の反復回数情報が更新される。並び換えスイッチ32を押すと反復操作回数に従って操生順序が階層化される。

【0008】 以上のように本実施例によれば、反復動作を指示する反復動作入力手段と、ランダムアクセス可能な主情報記録媒体と、該主情報を適宜に分割してブロック化するブロック化手段と、個々のブロックについてのアドレスと過去の再生回数に関する情報を記録する制御情報記録媒体と、該制御情報に従って前記ブロックに属する主情報の再生順序を制御する再生順序制御手段とを設けることにより、反復操作回数に従って再生順序が階層化されるため、学習機としての効率が向上する。

【0009】

【発明の効果】 上記実施例から明らかなように本発明は、反復操作回数に従って再生順序を階層化したため、学習機としての効率が向上させることができ、その実用的効果は大なるものがある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例の情報記録再生装置の構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

10…半導体メモリ、 11…アドレス制御部、 12…エン

コーダ/デコーダ、 13…AD変換器、 14…DA変換器、 15…入力端子、 16…出力端子、 20…システム制御部、 30…操作パネル部、 31…反復再生スイッチ、 32…並び換えスイッチ、 40…反復回数カウンタ、 50…再生順序情報メモリ。

【図1】

